

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
作成 平成21年11月26日

化学物質等のコード : 1502-6352

化学物質等の名称 : 4-tert-オクチルフェノール
(p-tert-オクチルフェノール)
(パラオクチルフェノール)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 腐食性物質
危険性 : 引火点の高い可燃性物質
有害性 : 皮膚、眼に付着すると重症のただれを引き起こす。
変異原性が認められた化学物質
環境影響 : 環境ホルモンの可能性あり。
難分解性で低蓄積性である。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : 4-tert-オクチルフェノール
(p-tert-オクチルフェノール、p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール)
成分及び含有量 : 93%以上
化学式または構造式 : (CH₃)₃CC₆H₄C(CH₃)₂C₆H₄OH
分子量 : 206.33
官報公示整理番号(化審法): 3-0503
(労安法): 公表化学物質
CAS No. : 140-66-9

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、暖かくして安静を保ち、呼吸に異常が認められる場合は人工呼吸又は有資格者がいる場合は酸素吸入を行い、医師の診断を受ける。
皮膚にふれた場合 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 水でよく口の中を洗浄する。必要な場合は医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 ・火元への燃焼源を断つ。
・初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
・大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は、火災を拡大して危険な場合がある。
・周囲の設備などに散水して冷却する。
・消火作業の際には、風上から行き必ず保護具を着用する。
・火災場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火剤 ・粉末、泡、二酸化炭素、水

6.漏出時の措置

・関係者以外の立ち入りを禁止する。
・付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。
・作業に際しては適切な保護具を着用し、衝撃、静電気にて火花が発生しないような装置、材質の用具を用いる。
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備しておく。
・粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。
・完全に回収後、汚染された場所及びその周辺を大量の水で洗浄する。
・付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
・乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。

残りは大量の水で洗い流す。
・河川等へ排出されて、環境への影響を与えることのないよう注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
粉塵を吸入しない。
取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散させないようにする。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱をしない。

保管上の注意

密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。
許容濃度 日本産業衛生学会：設定されていない
ACGIH TLV(s)：設定されていない

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
・取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

・状況に応じ、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、有機ガス用防塵マスク、送気マスク、空気呼吸器等を使用する。

9.物理的及び化学的性質

外観形状特性 白色フレーク状
比重、嵩比重 0.922(20 / 4)
融点 83.5 ~ 84.0
沸点 276
粘度 7.1mPa・S(100)

10.安定性及び反応性

引火点 138
可燃性 あり
爆発範囲 データなし
安定性・反応性 通常の条件下では安定
発火点 データなし
発火性 データなし
発火性(自然発火性・水との反応性) データなし
自己反応性・爆発性 データなし
自己反応性 データなし
爆発性 データなし
粉塵爆発性 データなし
酸化性 データなし
吸湿性 データなし
分解性 データなし
加熱・燃焼 データなし
混触等 データなし
水との接触 データなし
空気との接触 データなし
その他

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性

急性毒性

LD50(経口) マウス 3,210mg/kg

亜急性毒性

データなし

慢性毒性

データなし

刺激性(皮膚、眼) : 皮膚刺激 ウサギ 20mg/24H 中程度 (RTECS)

目刺激 ウサギ 50 µg/24H 重度 (RTECS)

感受性 : データなし

変異原性(微生物、染色体異常): 微生物を用いる変異原性試験 陰性:

染色体異常試験 D20値: 0.066mg/ml

(厚生労働省通達基発第0309002号)

皮膚腐蝕性 : あり

がん原性 : データなし

生殖毒性 : データなし

催奇形性 : データなし

安全管理上の留意事項 : データなし
その他 : データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)
: データなし

12.環境影響情報

分解性 : 分解度:0% by BOD(経産省既存化学物質安全性点検)
蓄積性 : 濃縮倍率:113~469(濃度 0.1mg/l):12~135(濃度 0.01mg/l)
(経産省既存化学物質安全性点検)
魚毒性 : ヒメダカ LC50: 0.0878mg/L/96hr(環境庁環境保健部環境安全課)

13.廃棄上の注意

- ・適切な保護具を着用する。
- ・関係法規や条例に従って処理する。
- ・焼却処理する場合には、可燃性溶剤で希釈した後、アフターバーナー及びスクラパーを備えた焼却炉で焼却する。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

国連分類番号 : 8(腐食性物質) PG
国連番号 : 2430

15.適用法令

労働安全衛生法 : 変異原性が認められた既存化学物質
(厚生労働省通達基発第0309002号)(平成18年3月9日):
化審法 : 第三種監視化学物質14
化学物質管理促進法(PRTR法) : 第一種指定化学物質No.74 (改正前 1-59)
消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
船舶安全法(危規則) : 腐食性物質
航空法 : 腐食性物質

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共立出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。